



2024年8月30日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第223号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

中間発表会

最終発表会の開催(8月1日、2日)

元研修生がチリで佐竹先生と再会

ドミニカ共和国向け研修

北主任研究員の論文が Earth, Planets and Space 誌に掲載

第18回世界地震工学会議出席

(短報)つくばちびっ子博士 2024

中間発表会

国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦

6月27日、国際地震工学センター講堂において地震学コースと津波防災コースの個人研修中間発表会がハイブリッド形式で行われました。

各研修生はこれまでの成果と残された課題を発表しました。スーパーバイザーの先生方や都司先生も出席されました。発表会は無事終了しました。

研修生は7月29日の修士論文提出に向けて個人研修を続けます。



アンソニーさん (S コース、エルサルバドル)



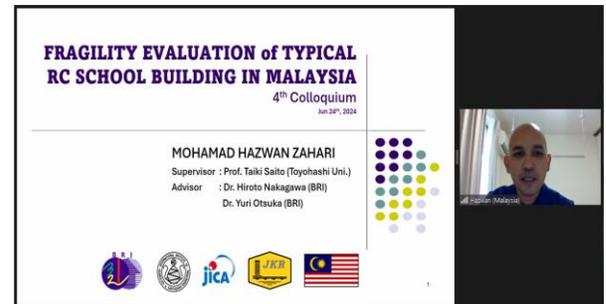
ファドリさん (S コース、インドネシア)

国際地震工学センター 主任研究員 伊藤 麻衣

6月24日、国際地震工学センター講堂において地震工学コースの中間発表会が開催されました。6名の研修生が、修士レポート研究の進捗状況を発表しました。遠地の大学で個人研修を実施している研修生は、オンラインで発表をしました。研修生は、修士レポートを完成させるため精力的に研究を続けます。



ハウアスさん (E コース、アルジェリア)



ハズワンさん (E コース、マレーシア)

最終発表会の開催(8月1日、2日)

国際地震工学センター センター長 藤井 雄士郎

8月1日から2日間に渡り、2023-2024レギュラーコースの個人研修最終発表会を開催しました。

最終発表会は、地震学、地震工学及び津波防災の3コース共同で行っており、修士レポートにおける研究成果を発表します。

建研外で個人研修指導を受けていた研修生も無事につくばに戻り、13名の研修生全員がオンサイト参加できたこと大変嬉しく思います。また、建研外の指導者の先生方には、オンラインでご参加いただきました。

両日とも素晴らしい発表と活発な質疑応答があり、大変充実した最終発表会となりました。

この場を借りて、指導者の先生方、アドバイザー、スタッフの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

このニュースレターが発行される頃には、修士レポートとシノプシスが完成している頃だと思います。研修生の皆さん、ゴールまでもう少しです。体調に気を付けて最後まで頑張ってください。



ベルハットさん (E コース、トルクメニスタン)



ファジャールさん (T コース、インドネシア)

元研修生がチリで佐竹先生と再会

国際地震工学センター

津波早期警報システム、PTWCから提供される情報、津波避難計画、津波への備え（Tsunami ready）に関する研修が、チリのバルパライソに於いて8月19日から30日までの12日間で行われました。主催は、ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）の国際津波情報センター（ITIC）とチリ海軍水路海洋部（SHOA）です。

元研修生のJojiさん（フィジー、2022-23津波防災コース）、Harvanさん（インドネシア、2022-23津波防災コース）、Naivinsさん（サモア、2022グローバルコース）の3名が参加され、講師として参加された、国際地震工学研修普及会議の会長であられる佐竹先生（東京大学地震研究所 名誉教授）とお会いしました。

研修にはチリから12名、他国から23名の35名が参加されたそうです。



（左から右）Jojiさん、佐竹先生、Harvanさん

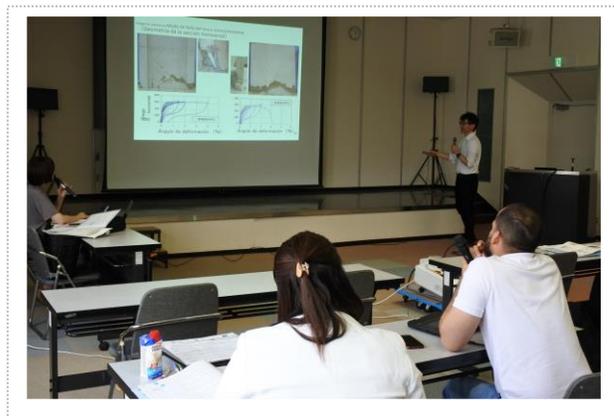


（左から右）Jojiさん、Vinsさん、Harvanさん

ドミニカ共和国向け研修

国際地震工学センター

6月26日（水）及び27日（木）に、ドミニカ共和国の建築物の耐震診断および耐震改修に係る機関から8名が建築研究所に来所され、我が国の建築物の耐震診断や耐震補強の手法、地震被害調査や応急危険度判定、被災区分度判定に係る手法の知見に関する講義を受けました。



北主任研究員の論文が Earth, Planets and Space 誌に掲載

国際地震工学センター 主任研究員 北 佐枝子

個々の地震の応力降下量は、地震の破壊過程の情報を反映したパラメータの1つであり、強震動予測などにも活用される重要な情報です。このたび、北主任研究員の主著論文が、Earth, Planets and Space誌に6月11日に掲載されました。本論文では、東日本の陸域下に沈み込む海洋性プレート内で発生する小・中規模の約2800個の地震（スラブ内地震）の応力降下量を詳細に調べました。海洋性地殻よりも海洋性マントルで発生する地震の応力降下量が大きいこと、東北地方よりも北海道地方の方がスラブ内地震の応力降下量が見出し、大きいことを見出しました。本論文は以下のリンクから無料でアクセスすることができます。ご興味のある方はご一読いただくと幸いです。

<https://earth-planets-space.springeropen.com/articles/10.1186/s40623-024-02032-5>

第18回世界地震工学会議出席

国際地震工学センター 研究員 的場 萌子

今年7月1日～5日の5日間にわたり、イタリア・ミラノにて第18回世界地震工学会議（18WCEE：18th World Conference on Earthquake Engineering）が開催されました。世界地震工学会議（WCEE）は、国際地震工学会（IAEE：International Association for Earthquake Engineering）が4年ごとに開催する会議であり、地震工学分野で最も歴史のある世界最大規模の国際会議です。18回目となる今回は地震工学および地震学とその関連領域から世界82カ国4,250人を超える研究者と実務者が参加し、幅広い分野での研究発表および討議が行われました。国際地震工学センターからは中川、林田、伊藤（麻衣）、渡邊、大塚、伊藤（恵理）、小豆畑、的場の8名が参加した他、建築研究所・建築生産グループの沖主任研究員、八木研究員、構造研究グループの中村主任研究員、材料研究グループの槌本グループ長が参加しました。

技術展示エリアでは国際地震工学研修を紹介するブースを出展し、本研修の内容や参加方法に関する情報提供を行いました。期間中は多くの学会参加者にブースを訪れて頂き、特に中南米や南アジアの参加者からは新規短期研修の内容に強く興味を持ったというコメントを多数頂きました。また、本会議には元IISEE研修生の方も多く参加しており、展示ブースにて近況報告や情報交換を行うことができました。さらに、7月3日の夜には元研修生とその関係者、そして本研修にご協力頂いている外部講師の先生方にお集まり頂き、学会会場近くのレストランでIISEE同窓会を開きました。建築研究所スタッフも含めて総勢38名が参加する盛会となりました。

次回第19回世界地震工学会議は2028年10月1日から6日にかけて、カナダ・モントリオールにて開催されます。次回も皆様とお会い出来ることを心より楽しみにしております。

<参加者の研究発表題目（邦題）※第一著者の論文のみ>

- ・遠心載荷実験に用いるせん断土槽の重量が地盤-建物系モデルの地震時挙動に及ぼす影響（中川・国地C）
- ・ボタンにおける常時微動を用いたVs30地図の作成（林田・国地C）
- ・強震観測に基づく免震建物の振動特性評価（伊藤（麻衣）・国地C）
- ・IISEEの組積造構造実験データベースを用いた統計解析：その1 確率密度とデータの分析（大塚・国地C）
- ・IISEEの組積造構造実験データベースを用いた統計解析：その2：復元力モデルの構築（小豆畑・国地C）
- ・中央イタリア・アマトリーチェ地方の地盤構造推定のためのEMR手法の適用（伊藤（恵理）・国地C）
- ・層間変形角と慣性力の作用を対象とした間仕切壁の耐震性能（沖・生産G）
- ・地震による内外装壁の損傷の評価に関する実大実験を通じた研究（八木・生産G）

- ・1階のみに新設開口を設けた鉄筋コンクリート造連層耐力壁の耐震性能（中村・構造 G）
- ・地震国日本における10階建て木造建築物の耐震試設計（槌本・材料 G）



18WCEE 開会式



IISEE 同窓会の様子

(短報)つくばちびっこ博士 2024

国際地震工学センター

小中学生向けの施設見学「つくばちびっこ博士 2024」の一環として、7月24日(水)に、約80名を迎え「建物の揺れ方を知ろう！」と題した実験講義を行いました。



■ 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>



バックナンバーは下記をご覧ください。

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>

研修データベース

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

E ラーニング

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

地震データベース

地震情報

世界の被害地震の表

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、
余震分布等)